

## スペイン語の辞書・参考書

### 1. 辞書

辞書は言語学習に欠かせない道具だが、使い方を知って初めて役に立つようになる。知らない単語を探して一番最初に載っている日本語訳だけを見て終わり、というのでは辞書を使ったことにはならない。辞書にはそれぞれ著者・編者が工夫を凝らして膨大な量の情報を詰め込んでいる。それを読み取れるようになることが使い方を知っているということなのだ。まずは、はしがきや「この辞典の使い方」といったページを読んでみよう。そこには、その辞書からどんな情報が得られるのかが明確に書かれている。

もちろん、辞書の使い方を覚える最良の方法は、その辞書をたくさん引くことだ。初めて見た単語はもちろん、見たことのある単語でも、知っているはずの単語でも、何度も引いてみる。訳語だけでなく、用例や解説、説明に使われている略語も確認する。お馴染みの単語に意外な使い方があるかもしれないし、別の単語との関連で新しい発見があるかもしれない。誤植を探したっていい。

学習が進んで知っている単語の数が増えてくると辞書を引かなくなるかという、決してそんなことはない。実際には言葉を知っている人ほど辞書をよく引く。それは、辞書の使い方を知っているからだ。辞書を使うことの意味が分かっているからだ。

まずは引いてみること。

#### 1. 西和辞典(メイン)

本格的な辞典として、次のうちから1つ(以上)を手に入れる。とにかく引き潰すまで使うのだから、なんとなく引きやすそう、開いて見た感じが好き、とかで選んでかまわない。以下新しい順に紹介する。

##### a) 『西和中辞典』, 第2版, 小学館, 2007

訳語の豊富さから、これを第一に推す人も多い。固有名詞などの百科事典的情報も入れている。

##### b) 『プエルタ新スペイン語辞典』, 研究社, 2006

このリストの中では最も初学者を意識。

##### c) 『クラウン西和辞典』, 三省堂, 2005

文の形の用例が多い。

##### d) 『現代スペイン語辞典』, 白水社, 1999

言葉の辞典に徹して、固有名詞などは敢えて載せていない。

#### 2. 西和辞典(サブ)

携帯用。これだけで済ませようと思わないこと。

- a) 『デイリーコンサイス西和・和西辞典』,三省堂, 2010
- b) 『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』,小学館, 2003

### 3. 和西辞典

- a) 『クラウン和西辞典』,三省堂, 2004
- b) 『和西辞典』,白水社, 2000

### 4. 西西辞典

実は西和辞典よりも分かりやすいことが多い。2年目ぐらいから徐々に慣れ始めると良い。ひとつだけ紹介しておく。

- a) *Diccionario Salamanca de la lengua española*, Santillana, 1996

### 5. 西英辞典

最初のうちは、英語が自由自在という人以外は使わない方がよい。ので紹介もしない。

### 6. 電子辞書

複数のメーカーから西和、和西の使える電子辞書が出ている(中身は白水社の『現代スペイン語辞典』と『和西辞典』)。西西辞典をインストールできるものもある。

また、iPhone/iPad用のアプリとして小学館の『西和中辞典』と『ポケットプログレッシブ』の和西部分を内容としたものが出ている。

電子辞書は、基本的には既に辞書を使いこなせる人が持ち歩くためのもので、初学者は印刷されたものを使う方がよい。実証的な研究があるかどうか分からないが、使ってみての感想としては、紙に印刷された辞書の方が記憶に残る手がかりが多く、学習に適している。また、見開きの情報を一望できる利点も大きい。

電子辞書を使う場合は、用例や成句の検索や、複数辞書間のジャンプなどの機能を十分に利用しよう。

## 2. 参考書

言葉の習得には時間がかかる。とはいえ、学習の見通しを得るために、できるだけ早く大雑把な文法知識を得ておくことが望ましい。薄めの入門書を1冊手に入れ、細かいことにこだわらず通読しておくとうい。

しばらくしたらレファランス用の文法書を手元に置きたい。

- a) 上田博人, 2011, 『スペイン語文法ハンドブック』, 研究社
- b) 山田善郎 (監修), 1995, 『中級スペイン文法』, 白水社